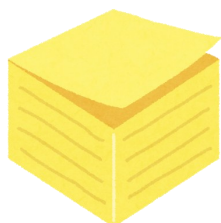


平成28年度 市民と議会をつなぐ会

実施報告書下巻(最終巻)



～はじめに～

北上市議会では、市民の皆様の御意見を広く伺い、議会の活動を知ってもらう目的から、「市民と議会をつなぐ会」として、市民の皆様との意見交換会を行っています。

昨年度までは、市内16地区の交流センターをまわり、各地区の皆様と意見交換を行っていましたが、今年度は、幅広い性別・年代の方と意見交換をする目的から、7・8月に高校生・青年団体と、9月に女性団体・高齢者団体との「市民と議会をつなぐ会」を行いました。

また、昨年度までの実施報告書は、①皆様からいただいた御意見 及び ②それに対する当市議会からの回答について併せて記載し、年度末に公表していたところですが、今年度は1冊であった報告書を、以下のとおり3巻に分けて作成しました。

- ・ 上巻(市HPにて公開中)・・・7・8月の高校生・青年団体との「市民と議会をつなぐ会」にて皆様からいただいた意見及び実施結果を報告
- ・ 中巻(市HPにて公開中)・・・9月の女性団体・高齢者団体との「市民と議会をつなぐ会」にて皆様からいただいた意見及び実施結果を報告
- ・ 下巻(本誌)・・・全参加団体からいただいた御意見等への当市議会からの回答を報告

【実施報告書 上巻・中巻 掲載先URL】

上巻: <http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2016103100057/>

中巻: <http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2016112800030/>

※北上市ホームページ トップページ → 北上市議会 → 議会活動
よりアクセスできます。



北上市 KITASAKI CITY

表示言語: 日本語 English 中文(简体字)

防災 くらし 健康 子育て・教育 福祉・介護 まちづくり 産業 観光 文化・スポーツ

TOP > 分野 > 行政情報 > 北上市議会 > 議会活動

北上市議会

議会案内 議員紹介 定例会・臨時会の結果 政務活動費 議長交際費 議会活動 議会だより 行政視察のご案内 請願・陳情の案内 傍聴の案内

議会活動

各分野のページ

- 市民と議会をつなぐ会
- テーマ別意見交換会
- 行政視察実施報告

議事録検索 DiscussNetPremium

携帯電話・スマートフォン表示

新着情報

- 議会モニターを募集します (2017年1月30日 議事課)
- 平成28年度 市民と議会をつなぐ会「実施報告書(中巻)」 (2016年11月28日 議事課)
- 平成28年度 市民と議会をつなぐ会「実施報告書(上巻)」 (2016年11月28日 議事課)
- 平成28年度 行政視察報告書【常任委員会】 (2016年9月21日 議事課)
- 議会改革推進会議 意見交換会を開催しました(報告) (2016年2月1日 議事課)
- 平成27年度 テーマ別意見交換会報告書 (2015年12月22日 議事課)
- 議会モニター会議を開催しました(報告) (2015年12月4日 議事課)
- 平成27年度 市民と議会をつなぐ会「実施報告書」 (2015年11月20日 議事課)

～本報告書の見方～

本報告書では、「市民と議会をつなぐ会」にて皆様から出されたご意見のうち、類似意見が多く、関心が多かった事項について、所管の常任委員会(※)から現在の関係事業の進捗状況、今後の方向性等について回答いたします。

いただいたご意見等	校舎の老朽化、教育環境の整備(トイレ、エアコン等)、学校教育施設の破損が目立つ	
意見の出た団体(類似意見含む)	岩崎地区青年会虹の会“絆” きたかみ市各種女性団体協議会	
掲載箇所	実施報告書 上巻 31 ページ・ 中巻 9 ページ 分類名 教育・子育て	
回答常任委員会	教育民生常任委員会	
	校舎の大規模改修は、建築後20年以上を経過した校舎を対象に、建築経過年数と老朽化の度合いにより順次進めています。平成28年度からは、南小学校で3年にわたる大規模改修工事を行って	
	的な将来コストを予測し、優先順位をつけて予防保全的な管理を行うことで、特定の時期にコストが集中することを防ぐものです。	

いただいたご意見の内容及び、その意見を出した方の所属する団体名を記載しています。

実施報告書上巻・中巻のうち、当該意見が掲載されている箇所を示しています。

※常任委員会とは・・・？

議会で審議される案件は多種多様(子育て・介護・インフラ整備・都市計画、、etc)であり、これらを全議員で審議・審査する場合、膨大な時間を要するとともに、十分に審議・審査が尽くされない弊害がでてきます。このため、各市町村議会では効率的に審議・審査をする目的から、あらかじめ常設の分野別の常任委員会を設置し、複数の委員会で並行して審議・審査が出来る仕組みをとっています。

常任委員会の種類は各市町村により異なります。北上市議会では次の3つの常任委員会が設けられており、議長を除く議員25人がいずれかの委員会に所属しています。

【北上市議会の常任委員会】

総務常任委員会

おもに企画・財政・防災に関することのほか、他の委員会で所管しない事柄を所管します。所属している議員の数は8人です。

教育民生常任委員会

おもに教育・福祉・環境に関する分野を所管しています。
所属している議員の数は9人です。

産業建設常任委員会

おもに農・商・工業や都市整備に関する分野を所管しています。
所属している議員の数は8人です。



～ 目 次 ～

教育・子育て 分野

- 校舎の老朽化、教育環境の整備、学校教育施設の破損が目立つ……………1
(岩崎地区青年会虹の会“絆” きたかみ市各種女性団体協議会 より)
- 大学がない、専門学校・短大・大学が必要……………2
(黒沢尻北高校 岩崎地区青年会虹の会“絆” 北上青年会議所 より)
- 特別支援学校がない、できればいい……………3
(専修大学北上高校 より)
- 少子化対策が少ない、子育て支援の徹底……………4
(専修大学北上高校 黒沢尻北高校 きたかみ市各種女性団体協議会 より)

福祉 分野

- 北上駅前地下道は高齢者、障がい者にやさしくない……………5
(きたかみ市各種女性団体協議会 より)
- 介護予防計画については、市民に十分な説明をしてほしい……………6
(北上市老人クラブ連合会 より)
- 老健施設が少ない、老人介護保険施設がもっとあればいい……………7
(きたかみ市各種女性団体協議会 より)
- 老人クラブ会員の集会場所がない 他……………8
(北上市老人クラブ連合会 より)

衛生 分野

- ごみ袋の無料化、ごみ袋料金を安く 他……………9
(黒沢尻北高校 北上青年会議所 きたかみ市各種女性団体協議会 より)
- マナーアップ運動に取り組む、ごみ拾いの呼びかけをする 他……………10
(専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 黒沢尻北高校 農協北上地域青年部
きたかみ市各種女性団体協議会 より)

安全・治安 分野

- 消防署の分署を設置してほしい……………11
(きたかみ市各種女性団体協議会 より)

環境 分野

- 空き家が目立ってきた……………12
(きたかみ市各種女性団体協議会 北上青年会議所 より)

道路・交通 分野

- バスの本数が少ない、バスや電車の本数を増やしてほしい……………13
(市内4高校 岩崎地区青年会虹の会“絆” より)
- 除雪をしっかりしてほしい……………14
(黒沢尻工業高校 農協北上地域青年部 北上青年会議所 より)
- カーブミラーが少ない。道路によっては歩道の幅が狭く歩きにくい道がある ……15
(市内4高校 きたかみ市各種女性団体協議会 より)
- 道路を新しくしてほしい……………16
(専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 岩崎地区青年会虹の会“絆” きたかみ市各種女性団体協議会 より)

北上線を積極的に利用する……………	17
(黒沢尻工業高校 より)	
街の便利さ 分野	
公園の遊具を安全なものにする……………	18
(専修大学北上高校 黒沢尻北高校 北上翔南高校 農協北上地域青年部 より)	
外国の方との交流機会がほしい……………	19
(黒沢尻北高校 より)	
公共施設 分野	
北上市に必要な施設を、優先順位をつけて建ててほしい……………	20
(専修大学北上高校 より)	
市の発注は、市内の企業で……………	21
(北上青年会議所 より)	
地域性 分野	
人口がもっと増えてほしい……………	22
(専修大学北上高校 より)	
地域の活動に対する補助を細分化してほしい……………	23
(岩崎地区青年会虹の会“絆” より)	
観光 分野	
季節に関係なく観光客が訪れる場所がない……………	24
(黒沢尻北高校 より)	
インバウンド(外国人観光客)を取り込めていない……………	25
(北上商工会議所青年部 より)	
スポーツ 分野	
市民プールが古い……………	26
(花巻農協北上地域青年部 より)	
物産 分野	
地場産品を学校給食に使ってほしい……………	27
(きたかみ市各種女性団体協議会 より)	
農業 分野	
農産物のブランド化、官民一体で取り組んでほしい……………	28
(きたかみ市各種女性団体協議会 より)	
その他 分野	
選挙に関わる活動(啓発活動等)をもう少し増やしたほうがいい……………	29
(北上翔南高校 より)	
市政等PRのしかたを工夫してほしい……………	30
(北上商工会議所青年部 より)	
職員の教育研修に力を入れてほしい……………	31
(北上市老人クラブ連合会 より)	

いただいた ご意見等	校舎の老朽化、教育環境の整備(トイレ、エアコン等)、 学校教育施設の破損が目立つ 
意見の出た団体 (類似意見含む)	岩崎地区青年会虹の会“絆” きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上 巻 <u>31</u> ページ・ 中 巻 <u>9</u> ページ 分類名 <u>教育・子育て</u>
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	校舎の大規模改修は、建築後20年以上を経過した校舎を対象に、建築経過年数と老朽化の度合いにより順次進めています。平成28年度からは、南小学校で3年にわたる大規模改修工事を行っています。市内小中学校の校舎は老朽化しているものが多いため、優先度を定めて対策を行わなければならない状況です。インフラ資産マネジメント(※)の取り組みの中で、改修又は建て替えを計画的に実施していきます。 なお、小規模な修繕については、学校から不具合の連絡を受けた都度、直ちに現況調査を行い、緊急性や児童・生徒の安全確保を優先して必要な対応を行っております。 トイレの洋式化については、平成28年度から30年度までで10校の改修を計画しています。議会では多くの議員がトイレの洋式化について一般質問で取り上げておりますが、平成27年12月の通常会議において当局からは、「平成27年度末の洋式化率は34.1%で、平成31年度に計画している江釣子中学校の大規模改修が終われば50%を超える見込みである、今後は計画通りに様式化を進めるとともに、大規模改修を行う学校では改修に合わせて全てのトイレの様式化を図り、様式化率100%を目指す」との答弁を得ております。 ※インフラ資産マネジメント…建築物及び工作物の安全性を確保するとともに総コストを抑えるための手法。資産を一元管理して全体的な将来コストを予測し、優先順位をつけて予防保全的な管理を行うことで、特定の時期にコストが集中することを防ぐものです。

いただいた ご意見等	大学がない、専門学校・短大・大学が必要、大学・専門学校がない
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻北高校 岩崎地区青年会虹の会“絆” 北上青年会議所
掲載箇所	実施報告書 上 巻 21、31、35 ページ 分類名 教育・子育て
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	北上市内には、専修大学北上福祉教育専門学校があり、保育・福祉分野で活躍する人材の育成に寄与されております。 また、黒沢尻工業高等学校専攻科(※1)では、ものづくり産業を支えるスペシャリストを育成しており、県内就職率100%の実績があります。 しかし、定員は限られており、また、その他の分野の専門学校や大学・短大は市内にありませんので、北上市に住み続けたいと思っても、市外に進学する方が多いのが現状です。 職業訓練校である北上コンピュータ・アカデミーは、北上市内のみならず、広く県内の人材育成に寄与していることから、市では県立施設としての位置づけや、これまで以上に強力な支援を県に要望しております。 また、議会の会派※2が、同校を公立の専門学校または短期大学として位置付ける検討をするよう、市に要望書を提出しました。 ※1 専攻科・・・工業系高等学校を卒業した生徒が、専門についての高度な知識・技能を身につける学科です。専攻科を修了すると、県内企業においては、短期大学と同等の職種・待遇で採用されています。(黒沢尻工業高校ホームページより) ※2 会派・・・議会内で活動を共にしようとする議員のグループです。北上市議会の場合、3人以上の議員で結成することができます。 

いただいた ご意見等	特別支援学校がない、できればいい 
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校
掲載箇所	実施報告書 上巻 8 ページ 分類名 教育・子育て、福祉
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	花巻清風支援学校の分教室が平成29年4月に開校します。 初等部は南小学校に、中等部は南中学校に、それぞれ3クラス(1クラスの定員は6人)ずつ設置されます。 これまで北上市内には特別支援学校がなく、子どもたちは花巻清風支援学校に通っていました。長時間の通学や送迎が子どもや保護者にとって大きな負担となっていることから、平成26年8月に行われた政策協議において、市は「北上市内への特別支援学校または分教室の新設について」とした要望を県に行い、継続して協議を行ってきました。また、12月には保護者会が特別支援学校設置等の請願を県議会に提出し、採択されました。さらに1万筆以上の署名を集め、県教育委員会に直接要望もされています。 こうした活動が実り、当面の措置として分教室が設置されることとなりましたが、分教室の通学状況によっては、改めて特別支援学校の新設を要望することも将来的な見通しとして考えられます。 分教室の設置により、障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育が可能になります。双方の教育課程の工夫により学校の施設を可能な範囲で共有し、行事等の交流を図りながら特別支援教育を推進していきます。 議会では、保護者の声を受け止め、特別支援教育の環境整備について継続して一般質問で取り上げてきました。高等部の設置についても要望しておりますが、当局からは、保護者の意見や要望を集約しながら県に要望したいとの答弁を得ております。

いただいた ご意見等	少子化対策が少ない、子育て支援の徹底 
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻北高校 きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上巻 <u>8、21</u> ページ 中巻 <u>9</u> ページ 分類名 教育・子育て、福祉
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	少子化対策は北上市の重要な課題の一つです。妊娠から子育てまでの不安や負担を解消し、切れ目なく支援することで、市全体の出生率の向上と出生数の維持を目指します。主な取り組みは次のとおりです。 【経済的支援】 ・乳幼児、児童、妊産婦医療費給付事業(平成28年8月から給付対象者を小学校6年生まで拡大しました。また、未就学児と妊産婦の医療機関窓口での経済的負担が軽減されました。) ・低所得世帯・ひとり親世帯に対する保育料の軽減(平成28年4月から) ・低所得世帯に対する小児インフルエンザ予防接種費用の助成(平成28年10月から) 【子育ての不安や負担の軽減、仕事との両立の支援】 ・ファミリー・サポート・センター事業(アドバイザーが育児の援助が必要な人と援助できる人のマッチングを行います) ・子育て支援コンシェルジュ(子育ての情報提供や助言等を行います。) ・乳児保育、延長保育、一時保育、障がい児保育、病児・病後児保育 ・保育所等待機児童の解消(私立幼稚園や保育所への支援により、認定こども園移行や小規模保育事業所の増設による3歳未満児の受け入れを促進します。) ・学童保育所の整備 (平成27年度に和賀西学童保育所わにっこクラブを新設) 議会では平成28年7月に、子育て支援の先進地(埼玉県和光市)を視察しました。その調査・研究結果をもとに一般質問等で提言を行っていきます。

いただいた ご意見等	北上駅前地下道は高齢者、障がい者にやさしくない
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 中巻 <u>9</u> ページ 分類名 <u>福祉</u>
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	平成28年9月末から、北上駅前(西口)に横断歩道と押しボタン式の信号機が新たに設置され、駅と大通り方面が簡単に通行できるようになりました。 駅西口にある地下道は、障がい者や高齢者、妊婦やベビーカーを押す方にとっては階段の上り下りが大変で、エレベーターやスロープも離れた場所にあるため不便であるとの声がかねてよりありました。これを受けて、市が県警や関係団体とおおよそ1年にわたる協議を重ねた結果、横断歩道と信号機の設置が実現したものです。 また、駅前から諏訪町までの歩道のバリアフリー化も合わせて行いました。舗装面の波うちや急勾配を解消し、視覚障がい者用の点字ブロックを途切れなく設置しました。   ↑ 駅前の横断歩道と信号 駅前から諏訪町までの歩道 → 【写真提供】道路環境課

いただいた ご意見等	介護予防計画については、市民に十分な説明をしてほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上市老人クラブ連合会
掲載箇所	実施報告書 中巻 13 ページ 分類名 福祉
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	北上市には「介護予防計画」という名称の計画がないため、ここでは、意見を出してくださった方の関心ごとと思われる①『きたかみいきいきプラン』と、②介護予防・日常生活支援総合事業 の二つについてご説明いたします。 ①『きたかみいきいきプラン』について 『きたかみいきいきプラン』は、高齢者の福祉、保健、医療、介護保険、生きがいづくりや社会参加など、高齢者施策全般にかかる具体的な計画を策定したもので、計画期間は、平成27年度から平成29年度までです。 この計画は、団塊の世代が75歳以上になり、介護が必要な高齢者が急速に増加する平成37年を見据えて、3年ごとに見直しを行います。 計画の策定にあたっては、介護・福祉・保健・医療機関の関係者からの意見聴取や市民のアンケート調査、高齢者の生活実態やニーズ等の把握、地域説明会などを行っています。 【策定経過の一部】 平成26年7月1日～15日 ニーズ調査 平成27年1月16～2月6日 パブリックコメントの実施 平成27年1月19日～22日 地域説明会（飯豊地区交流センター、相去地区交流センター、二子地区交流センター、北上市総合福祉センター、江釣子地区交流センター、和賀町総合福祉センター、口内地区交流センター） ②介護予防・日常生活支援総合事業について 介護保険法の改正により、平成29年4月から、要支援1・2の方が利用している介護予防の「訪問介護（ホームヘルプ）」と「通所介護（デイサービス）」が、全国一律の介護予防給付から、市町村が独自に事業を実施する『介護予防・日常生活支援総合事業』に移行します。 総合事業に移行すると、この訪問・通所サービスのみの利用であれば、支援の認定を受ける必要がなくなります。現在介護予防の訪問介護や通所介護を受けている方に大きな状態の変化がなければ、サービスが途切れたり、負担額が変わったりすることはありません。 また、介護事業所に加えて市民ボランティアなどの地域での支え合いによる高齢者支援を推進していきますので、多様な提供者からサービスを受けられるようになります。詳しくは、平成29年2月下旬の市の広報や、ホームページで市民の皆さんにお知らせいたします。

いただいた ご意見等	老健施設が少ない、老人介護保険施設がもっとあればいい																																																		
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会																																																		
掲載箇所	実施報告書	中巻 9 ページ	分類名 福祉																																																
回答常任委員会	教育民生常任委員会																																																		
回答	北上市内にある介護保険施設等の事業所数と定員の合計は次のとおりです。																																																		
	<table><tr><td>施設種類</td><td>事業所</td><td>定員 合計</td></tr><tr><td colspan="3">介護保険施設</td></tr><tr><td>特別養護老人ホーム※</td><td>5</td><td>280</td></tr><tr><td>介護老人保健施設</td><td>4</td><td>305</td></tr><tr><td>介護療養型医療施設</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>特定施設入所者生活介護</td><td>1</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="3">地域密着型の施設(原則として北上市の住民のみが利用できます)</td></tr><tr><td>地域密着型特別養護老人ホーム ☆平成29年度に1事業所が新設予定</td><td>2</td><td>49</td></tr><tr><td>認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ☆平成29年度に2事業所が新設予定</td><td>15</td><td>189</td></tr><tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>7</td><td>176</td></tr><tr><td>地域密着型特定施設入居者生活介護</td><td>1</td><td>9</td></tr><tr><td>養護老人ホーム</td><td>1</td><td>50</td></tr><tr><td colspan="3">その他</td></tr><tr><td>ケアハウス(軽費老人ホーム) ☆平成29年4月に1事業所が開所予定</td><td>2</td><td>30</td></tr><tr><td>サービス付き高齢者向け住宅</td><td>6</td><td>110</td></tr><tr><td>高齢者住宅等</td><td>5</td><td>52</td></tr></table>			施設種類	事業所	定員 合計	介護保険施設			特別養護老人ホーム※	5	280	介護老人保健施設	4	305	介護療養型医療施設	1		特定施設入所者生活介護	1	30	地域密着型の施設(原則として北上市の住民のみが利用できます)			地域密着型特別養護老人ホーム ☆平成29年度に1事業所が新設予定	2	49	認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ☆平成29年度に2事業所が新設予定	15	189	小規模多機能型居宅介護	7	176	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	9	養護老人ホーム	1	50	その他			ケアハウス(軽費老人ホーム) ☆平成29年4月に1事業所が開所予定	2	30	サービス付き高齢者向け住宅	6	110	高齢者住宅等	5	52
	施設種類	事業所	定員 合計																																																
	介護保険施設																																																		
	特別養護老人ホーム※	5	280																																																
	介護老人保健施設	4	305																																																
	介護療養型医療施設	1																																																	
	特定施設入所者生活介護	1	30																																																
	地域密着型の施設(原則として北上市の住民のみが利用できます)																																																		
	地域密着型特別養護老人ホーム ☆平成29年度に1事業所が新設予定	2	49																																																
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ☆平成29年度に2事業所が新設予定	15	189																																																
	小規模多機能型居宅介護	7	176																																																
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	9																																																
	養護老人ホーム	1	50																																																
	その他																																																		
	ケアハウス(軽費老人ホーム) ☆平成29年4月に1事業所が開所予定	2	30																																																
	サービス付き高齢者向け住宅	6	110																																																
	高齢者住宅等	5	52																																																
	※ 県が実施した特別養護老人ホームの入所待機者数調査では、平成28年4月1日現在における市内の入所申込者は281人、このうち在宅の方は67人、その中でも早期の入所が必要な方は50人でした。																																																		
	常時介護を必要とする高齢者や認知症高齢者が増加していることに加え、介護人材不足のために介護事業所の新規参入が難しくなっていることから、待機者の解消にはいたっていませんが、地域密着型施設の整備が進んでいるため、平成26年や平成27年と比べて早期の入所が必要な入所待機者は減少しています。																																																		
なお、市の第6期北上市介護保険事業計画では、平成29年度に特別養護老人ホームを21床増床する計画としております。																																																			
【担当課:長寿介護課】																																																			
新設・開所予定の施設について確認済み																																																			

いただいた ご意見等	老人クラブ会員の集会場所がない、研修バスがない、支援が不足している、老人クラブにもっと加入依頼を、活動費の増額を希望、助成金を削減しないでほしい、展勝園存続当時と変わらない施設がほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上市老人クラブ連合会
掲載箇所	実施報告書 中巻 13 ページ 分類名 福祉
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	○補助金について 「老人クラブ活動費補助金」は、老人クラブ連合会に加入している老人クラブの社会参加活動に対して、会員数に応じた月額単価で補助するものです。 「老人クラブ連合会運営費補助金」は、老人クラブ連合会への活動支援として交付されます。内訳は、県補助分で均等割16万円に加えて会員数×50円、市補助分で会員数×95円です。そこにバス借り上げ料として20万円を上乗せして補助しています。どちらの補助金も会員数に応じて交付しているため、会員数の増減により交付額が変わります。 ○市バスの利用について シニアスポーツクラブ大会などの県事業に参加する際には、北上市のバスを配車しています。 ○活動拠点の整備について 老人クラブの活動などに使われていた老人福祉センター展勝園は、施設の老朽化や敷地が土砂災害警戒区域に指定されたことにより、平成24年度に廃止されました。議会では展勝園廃止後の老人クラブへの支援についてたびたび取り上げておりますが、当局からは、新たな拠点を整備するのではなく、既存の施設の活用やふれあいデイサービス事業を行っている地区交流センター、自治公民館などを有効に活用した地域密着方式での高齢者活動を推進していくとの説明がありました。 ○会員増への支援について 平成28年11月に行われた決算特別委員会※では、老人クラブを活発化させる考えはあるかとの議員の質疑に対し、当局からは、老人クラブは地域にとって非常にありがたい存在であるので、今後も支援していきたい。高齢者サロンやふれあいデイサービスの運営と一緒にやってはどうかということで研修を実施した。それが結果的に会員の獲得につながればと考えているとの説明がありました。 ※決算特別委員会…予算が無駄なく正しく使われているかどうかや、事業の成果などについて、議員が市長や担当部課長に質問し、審査する委員会です。 【担当課：長寿介護課】 補助金の単価について確認済み

いただいた ご意見等	ごみ袋の無料化、ごみ袋料金を安く、ごみ袋 手数料が高い、ごみ袋が高い 
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻北高校 北上青年会議所 きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上 巻 <u>18、21、35</u> ページ 中 巻 <u>9</u> ページ 分類名 <u>衛 生</u>
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	北上市のごみ手数料袋には、ごみ処理経費の2分の1が付加されています。平成26年度のごみ処理費用7億3,000万円には市民の皆さんのごみ袋の購入費約1億4,000万円が充てられました。 平成27年10月からは、燃えるごみの焼却施設が岩手中部クリーンセンターに変更されました。ここでのごみ処理費用は構成4市町（北上市、花巻市、遠野市、西和賀町）で負担し、負担金は市が持ち込むごみ処理量によって変動します。 北上市の1人1日あたりの家庭ごみの排出量は県内で最も少なく、平成26年度で482gでしたが、今後もごみを発生させない生活を心がけ、ごみの再利用・再資源化を進める必要があります。 議会では、ごみ減量の取り組みによる効果や手数料の見直しなどについて、多くの議員が一般質問などで取り上げてきました。平成28年11月の決算特別委員会※では、議員からのごみ処理手数料廃止の検討はないのかとの質疑に対し、当局からは、ごみ処理費用の推移を何年か見たうえで手数料の見直しが必要な部分があれば検討したいとの答弁がありました。 議会では、平成28年7月に東京都町田市のごみ減量の取り組みを視察しました。様々な工夫で資源化への動機づけや環境意識の啓発を行っており、学ぶべき点が多くありました。その調査・研究結果を踏まえ、循環型社会の形成へ向けた提言を行っていきたいと考えております。 ※決算特別委員会…予算が無駄なく正しく使われているかどうかや、事業の成果などについて、議員が市長や担当部課長に質問し、審査する委員会です。

いただいた ご意見等	マナーアップ運動に取り組む、ごみのポイ捨て・不法投棄、ごみ拾いの呼びかけをする、ごみのポイ捨てをなくす、ごみ拾い運動をする 
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 黒沢尻北高校 農協北上地域青年部 きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上 巻 7、12、18、21、26 ページ 中 巻 9 ページ 分類名 衛生、環境
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	北上市内の125行政区には各地区一人ずつ公衆衛生指導員がおり、地域の清掃活動実施の指導、ポイ捨てや不法投棄をしないよう意識啓発、リサイクルの推進・指導を行うなど、環境美化活動を行っています。 ごみ専任指導員は、公衆衛生指導員と連携して、ゴミ出しの指導や不法投棄の監視を行っています。 春、秋の地域清掃には毎年2万人を超える市民が参加し、きれいなまちづくりに寄与しています。 こうした活動がある一方で、市街地ではたばこやペットボトルのポイ捨てが後を絶たちません。平成28年8月に市が行った市街地のごみポイ捨ての実態調査では、収集したごみ1,836個のうち、約4割がタバコに関するものでした。ポイ捨て対策についての議員の一般質問に対し、当局からは、ポイ捨ては法律のほか県の条例でも禁止されており、市としては喫煙者のマナーやモラルの向上に向けて意識啓発に努めたいとの答弁がありました。 また、不法投棄防止のため、公衆衛生指導員が中心となり、年3回程度パトロールを実施しています。平成26年度に回収した不法投棄のごみは8,368kgに及びました。不法投棄の多くは家庭ごみのほか、タイヤ類、家電製品、建設廃材、農機具、農薬となっています。市内には監視カメラを22台設置して監視体制を整えていますが、不法投棄を完全に無くすまでに至っていません。 ポイ捨て・不法投棄を放置することはさらなるポイ捨て・不法投棄につながります。公衆衛生組合や市民の皆さんの協力を得ながら定期的な清掃活動や回収作業を行うとともに、市広報やパンフレット等で意識啓発を行っていきます。

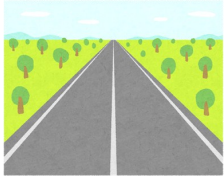
いただいた ご意見等	消防署の分署を設置してほしい。
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 中 巻 <u>9</u> ページ 分類名 <u>安全・治安</u>
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北部地区への消防署分署の設置について、議会では平成12年から何回かの一般質問が行われてきました。平成26年9月定例会では、市長から「飯豊地区での座談会でも要望が出されており、北部地域の今後の人口増加や救急出動件数の推移等を見ながら、次期総合計画に向けて検討している」との答弁があり、市の検討状況を注視してきました。 そして、平成28年8月通常会議でも分署設置に関する一般質問が行われ、「平成29年度から設置場所の調査、検討を行い、平成30年度に用地調査及び購入、平成31年度に造成及び設計、平成32年度に分署庁舎建設を行い、平成33年度に開所する計画としている」との説明を受けているところです。 市では、北部地区への新たな分署の設置場所について、国道4号より東側、JR東北本線より西側の市道秋葉飯豊線の間付付近を検討しています。開所後の救急出動件数を年間500件程度と見込んでおり、分署設置によって到着時間が縮まることが期待できます。 

いただいた ご意見等	空き家が目立ってきた。 
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会 北上青年会議所
掲載箇所	実施報告書 中 巻 <u>9</u> ページ 上 巻 <u>36</u> ページ 分類名 <u>環境、その他</u>
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	北上市の空き家は、平成15年は5,040戸、平成20年が6,690戸、平成25年が6,180戸となっています。住宅などから居住者が退出し、空き家となってしまうことで、老朽化した建築物や工作物の破損や立木などの管理をするものがいなくなり、保安上で危険な状態や衛生上で有害な状態、景観を損なう状態になってしまうことが懸念されます。 【市の取り組み】 市では、管理不全の状態にある空き家への措置及び空き家の利活用などのため、平成27年度に「北上市空家等対策計画」を策定しました。また、平成27年5月の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行を受け、主に適切な管理が行われていない空家等が及ぼす悪影響から市民の生命、財産を保護するための措置規定等を定めた「北上市空家等対策条例」を平成28年4月に施行しました。 ◆具体的な取り組み ①空き家総合相談会の開催 空き家所有者から売買、賃貸、相続、登記などに関する相談を受け付けて、空き家の利活用や適正管理を促進しようとすることを目的に開催しています。この相談会には、司法書士会、土地家屋調査士会や宅地建物取引業協会など専門的な団体の協力をいただいています。 ②空き家バンクの開設 「使っていない空き家を利活用したい」という空き家所有者と、「北上市内の中古物件を探している」ような方を結び付けるため、空き家バンクを開設しました。 ③空き家の解体(行政指導・即時執行) 北上市空家等対策計画や北上市空家等対策条例に基づき、危険な状況にあった空き家について、空き家所有者(相続人)に対し行政指導・即時執行を行い、それを受けて所有者(相続人)が平成28年12月に空き家の解体を行いました。

いただいた ご意見等	バスの本数が少ない(電車含む意見あり)、バスや電車の本数を増やしてほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 北上翔南高校 黒沢尻北高校 岩崎地区青年会虹の会“絆”
掲載箇所	実施報告書 上 巻 8・12・16・21・31 ページ 他多数 分類名 道路・交通
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	新幹線や高速道などの他市等からの交通アクセスの便利さが指摘されている反面、路線バスをはじめとする市内交通機関の不便さが指摘されています。また、地域によってはバスの便利さも指摘されていることから、それぞれ居住地域によって交通の便の差が生じていることがわかります。 【現状】 市では交通に不便をきたしている地域への対策として、その地域から駅やバス停までを乗り合いタクシー等で結ぶ「支線交通」や、その地域と主に県立中部病院を結ぶ「コミュニティバス」の運行を実施しています。幹線交通への取り組みとしては、岩手県交通横川目線のダイヤを等間隔化して利用しやすくし、利用者増につなげています。また、まちなかターミナルを整備し、ツインモールプラザ周辺に分散しているバス停及び運行経路を整理することで北上駅から市街地までの利便性が向上しました。 さらなる対策として、市では平成28年度に公共交通政策室を設置し、「(仮称)北上市地域公共交通網形成計画」の策定を進め、市内16地区の地域拠点から市街地の都市拠点をつなぐ公共交通ネットワークの確立を目指しています。 また、地域独自の取り組みでは、口内地区で地元のNPOにおいて「口内有償ボランティア輸送システム」を実施しており、利便性の確保に努めていただいています。 【議会】 先進地である富山県魚津市と福井県敦賀市を視察しました。共に市が路線バスを運行する形態となっていますが、魚津市が自家用有償旅客運送(白ナンバー)、敦賀市は一般乗合旅客自動車運送事業(営業ナンバー)のバスを運行しているなどの違いがありました。議会としても、北上市にとってどのような形態が良いのか研究を進め、コミュニティバス路線の抜本的な見直し配置や地域の自主事業としての乗合自動車の活用など、市に対して提言などを行っていきます。

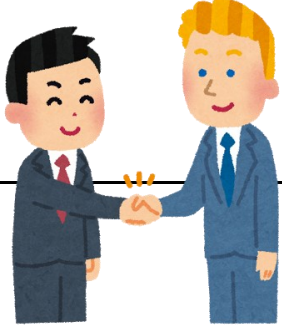
いただいた ご意見等	除雪をしっかりしてほしい 
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻工業高校 農協北上地域青年部 北上青年会議所
掲載箇所	実施報告書 上 巻 12 ページ 他 分類名 道路・交通
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	北上市は降雪の多い地域です。さらに、除雪を行う市道の総延長が1,056kmあり、どうしても市民のみなさまに不便をきたしているところです。北上市道における除雪の基準などは次のとおりとなっています。 ◆除雪を行う道路 ①道路幅が4m以上の舗装道路、 ②通り抜けができる道路、 ③利用者が特定されない道路 ◆除雪の出動基準 生活道路(道路幅が4～5m程度)の除雪は、降雪量が概ね10cmを超えたときを基準に行い、午前7時までに完了することを目標にしています。 ※その他、わだちや融雪により路面状況が悪化したときや吹溜まりが発生したときに除雪を行っています。 ◆除雪の状況 現在どこが除雪されどこが未除雪なのかなどは、北上市ホームページのバナーの「本日の除雪」からリアルタイムでご覧いただくことができます。 【議会】 議会全員協議会や一般質問などの際に、除雪に対して意見や提言を行ってきました。これからも効率的な除雪のあり方などを研究し、提言していきます。 ※除雪については、市民のみなさまの協力がどうしても不可欠です。深夜早朝の除雪作業に理解いただくことや路上駐車をしないこと、道路への雪出しを行わないなど、除雪作業の支障にならないよう御協力をお願いします。

いただいた ご意見等	カーブミラーが少ない。道路によっては歩道の幅が狭く歩きにくい道がある
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 黒沢尻北高校 北上青年会議所 きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上 巻 <u>21</u> ページ 他 分類名 <u>道路・交通</u>
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	特に標識やカーブミラー、歩道や通学路について多くの指摘をいただきました。 【市の取り組み】 平成24年4月以降、全国各地で登下校中の児童生徒の列に自動車が衝突したことにより、多数の死傷者が発生する事故が相次いだことを受け、北上市では、平成24年8月までにすべての小学校区において、関係機関との連携のもと、緊急合同点検を実施して必要な措置を講じてきました。 さらに、平成26年6月には北上警察署や国道、県道の管理者と市の関係部課等で構成する「北上市交通安全施設改善検討部会」を立ち上げました。その中で要望のあった場所の点検などを行い、必要に応じて標識や信号、カーブミラーなどの設置や、主に通学路においては歩道のカラー化や交差点のイメージハンプの設置などに取り組んでいるところです。標識やカーブミラーの設置などが必要な道路を発見した際は、一般的な市道については市内16地区の自治組織(地区交流センター)に、通学路については各小中学校にご相談ください。自治組織や小中学校を通して北上市交通安全施設改善検討部会に要望が伝わります。 また、道路標識やカーブミラーの破損、道路の穴ぼこなどを発見された場合は市の道路環境課にご連絡をお願いします。 【議会】 これまでも、一般質問や予算や決算の審査の際など機会をとらえて道路の安全確保について質問や提言を行ってきたところです。今後も、小中学生をはじめとした市民の安全確保のため、産業建設常任委員会などで研究や検討をしていきます。

いただいた ご意見等	道路を新しくしてほしい 
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻工業高校 岩崎地区青年会虹の会“絆” きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 上 巻 12 ページ 分類名 道路・交通
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	道路の新設改良についての要望は多くあり、議会でも一般質問や代表質問などで多く取り上げられてきました。 【生活道路(幅員4m程度の道路)】 生活道路は、総延長が1,526kmあり、そのうち未舗装が852kmとなっています。 ◆市の整備計画 現在の総合計画策定に当たり、市内16地区(地区交流センター単位)から338路線の整備要望が出されました。そのうち市では、各地区から出された優先順位を考慮し、平成23年度から平成32年度までの総合計画期間中に45路線を整備することとしています。 ◆みちづくり支援事業費補助金 生活道路の整備については、市が直接事業を実施するほかに、平成23年度から市内各地区(交流センター単位)が主体となって実施する道路整備事業に対し、5年に一度のサイクルで1地区当たり100万円を上限とする補助を行っています(年間3～4地区程度に補助を行い、平成27年度で市内16地区を一巡)。 なお、平成28年度からは、これまでの1地区当たり100万円(定額)から、1地区当たり200万円(平均)に引き上げています。 【幹線道路】 平成27年度に実施した主なもの ・川原町南田線(北上駅東口～上野中～黒沢尻工業高などを結ぶ道路) 歩道を整備(事業費約4,132万円) ・飯豊北線(国道107号線～流通センター～岩手中部病院などを結ぶ道路) 道路改良(事業費約3億3,954万円) ※飯豊北線は、県道清水野村崎野線(国道4号～飯豊小・中などを通る道路)との接道部分から、花巻市の富士大学付近までを新たに結ぶ道路を新設中で、平成32年度に完了する予定です。

いただいた ご意見等	北上線を積極的に利用する
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻工業高校
掲載箇所	実施報告書 上 巻 12 ページ 分類名 道路・交通
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	JR北上線の現状については、北上・横手区間の平均利用人員がJR東日本のホームページで公開されており、平成4年度の1日1,157人から、平成27年度には1日323人と、約28%に減少しています。JR北上線は、現在廃止対象路線となっているものではありませんが、JR北上線の利用をこれ以上減らさないことが喫緊の課題であり、北上線存続のための利用促進が必要となっています。 平成26年には、北上市、横手市、西和賀町の3市町とJR、商工団体、観光団体、沿線の地域づくり組織等によって、『JR北上線利用促進協議会』が発足しました。住民の移動手段の確保を目的の中心に置きながら、観光事業も含め、多角的な利用促進策の協議が進むことが期待されます。 議会では、これまでも北上線の利用促進策を提言してきたこともあり、今後も提言や要望活動を行っていきます。 

いただいた ご意見等	公園の遊具を安全なものにする 
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校 黒沢尻北高校 北上翔南高校 農協北上地域青年部
掲載箇所	実施報告書 上 巻 7・19 ページ 他 分類名 街の便利さ
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	市が管理している公園や緑地は169か所あります。 【主な公園の種類】 ・都市公園・・・126か所 都市公園法第2条の2などにに基づき、市内にあり市民の休養・運動に供する目的で設置された公園や緑地(児童公園や緑地など、) 《例 詩歌の森公園(本石町) グリーントウン黒岩公園(黒岩) 橋本児童公園(芳町) 和賀川グリーンパーク(江釣子) など》 ・児童遊園・・・11か所 児童福祉法第40条などに基づく児童厚生施設の一つで、児童の健康増進や、情緒を豊かにすることを目的とし、児童に安全かつ健全な遊び場所を提供する屋外型の施設。 《例 野中児童遊園(江釣子) 才の羽々児童遊園(二子) など》 ・農村公園・・・14か所 農業集落居住者の憩いの場を提供する目的で作られた公園 《例 浮牛城農村公園(口内) 津村田農村公園(横川目) など》 【議会でのやりとり】 議会でも、平成27年度の決算を審査する際に公園の遊具の安全性などについて質疑がありました。質疑と答弁は以下のとおりです。 《議員から》 Q. 老朽化などで壊れてしまった遊具をよく見かけるが、管理は適正に行われているのか？ 《市都市整備部》 A. 平成27年度に都市公園、児童遊園及び農村公園に設置されている遊具の一斉点検を行い、平成27・28年度において集中的に遊具の修繕を行っているところである。

いただいた ご意見等	外国の方との交流機会がほしい 
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻北高校
掲載箇所	実施報告書 上 巻 22 ページ 分類名 街の便利さ
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	現在、北上市内には約400人の外国人住民が生活しています。市内の日本人住民と外国人住民がお互いの言語や文化を理解しあって、交流を深め、快適に暮らしていくための方向性を「北上市多文化共生指針」として、平成28年2月にまとめました。この指針では次の6項目を基本目標としています。 ①言葉の違いがあっても、公平にサービスが受けられる環境を作ります。 ②子どものうちから外国語、多文化に親しむ機会を設けます。 ③外国人と日本人が交流する機会をつくり、相互理解を促進します。 ④当市の美しい環境を守り、安心・安全な地域社会を構築します。 ⑤災害時を中心に命を守る情報を等しく提供できるように取り組みます。 ⑥外国人、日本人双方が課題を持ち寄り、より快適に生活できる環境を創造します。 これらの目標に沿って取り組みが行われることとなり、今後、外国人との交流機会は増加していくと思われます。また、国際交流イベントとして、「ワン・ワールド・フェスタ」を毎年開催しており、イベントを通じて海外の文化に触れることができます。 議会では、平成28年2月通常会議において、市長が「外国人観光客の受入れや交流環境の整備に努めるとともに、国際リニアコライダー(ILC)の誘致も見据え、青少年のインターナショナルスクールや英語キャンプを開催し、グローバル人材の育成を図って参ります」と述べています。

いただいた ご意見等	北上市に必要な施設を、優先順位をつけて建ててほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校
掲載箇所	実施報告書 上 巻 <u>7</u> ページ 分類名 <u>公共施設</u>
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北上市には多くの公共施設があり、今後、全ての施設を維持・更新していこうとすれば、毎年約22億円もかかってしまう試算があります。これは現在の2倍以上の金額であり、全ての施設を維持・更新は困難な状況です。そこで市では、公共施設の統廃合や複合化などの『最適化計画』と、効率的に維持するための『長寿命化計画』を策定しようとしています。これらの計画を立てるためには、公共施設の現状を把握する必要があり、平成25年度から『施設カルテ』の整備に取り組んでいます。施設カルテにより、建築年度や修繕の履歴、利用状況等の他に、建物の劣化情報を整理することとしており、そのため、平成28年度から3年間かけて、建築物の劣化調査が行われているところです。 劣化調査の次のステップとして『最適化計画』を策定する際には、同じような公共施設を統合して一体の施設として整備することや、異なる種類の公共施設を統合して両方の施設の機能を有した複合施設を整備すること、既存の公共施設を改修して他の施設として利用することなど、幅広い検討が行われる見込みです。北上市のどこにどのような施設が必要なのか、どのような優先順位とするのかについて、地域・市民と情報を共有しながら、議会としても議論していきたいと考えています。

いただいた ご意見等	市の発注は、市内の企業で 
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上青年会議所
掲載箇所	実施報告書 上 巻 35 ページ 分類名 公共施設
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	平成27年度の決算を審査する際、決算特別委員会第1分科会において、地元業者への発注について質疑が出されました。契約の担当課からは、 「指名競争入札の場合は、まず市内に本社がある業者に指名することになっている。特殊な工事など、市内本社業者ではできないという判断になった場合に、初めて他市の大手の業者を指名することになっている。また、条件付き一般競争入札は、市内本社の条件を付けているので、ほぼ市内本社業者での入札となっている。なお、入札の際には、資材調達はできるだけ市内の業者から調達するよう必ずお願いしている。」 との説明を受けています。 《用語解説》 指名競争入札…市が業者の選定を行い、指名された業者に通知し、入札に参加してもらうもの。 条件付き一般競争入札…市が業者を指名・通知することはせず、公告により入札情報・参加資格をお知らせし、参加希望者の申請により入札が行われるもの。

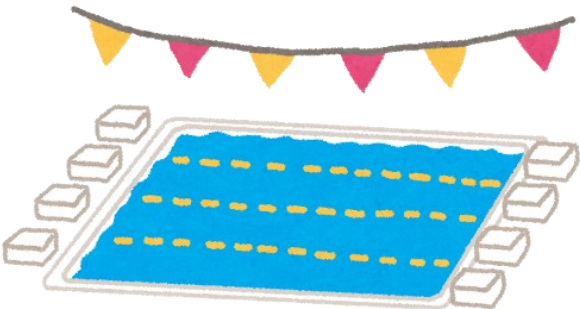
いただいた ご意見等	人口がもっと増えてほしい						
意見の出た団体 (類似意見含む)	専修大学北上高校						
掲載箇所	実施報告書 上 巻 19 ページ 分類名 地域性						
回答常任委員会	教育民生常任委員会						
回答	北上市では、平成28年1月に人口ビジョンを策定しました。これには、北上市が独自に推計した将来人口について、2030年には8万8,799人、2060年には7万644人になるが、人口減少対策に成果が上がれば、減少のスピードを遅らせることができると記載しています。その人口減少対策としては、次の4つの方向性を整理しています。 ①結婚・出産・子育て世代をターゲットとした出生数(出生率)の向上 ②急速な高齢社会への進展を見据えた健康長寿の実現 ③住みやすさの追求と地域産業力の強化による転出の抑制 ④北上との縁やつながり、地域資源を活かした転入(Uターン)の促進 また、平成26年度からは、人口減少地域定住化促進事業が行われています。この事業は、平成3年の3市町村合併時と比較して人口が減少している地域(立花、更木、黒岩、口内、稲瀬、和賀、岩崎の7地域)において、地域の就労の場創出に関する事業や、Uターン・Iターン促進に関する事業、交流人口の増加に関する事業など、定住を促進する事業に取り組む地域づくり組織やNPO法人に対し、3年間で350万円を上限に助成するものです。平成27年度には、和賀、黒岩、口内の事業実施者に269万6,000円を交付しました。議会でも注目している事業であり、決算審査においては、「成果によっては対象を全市に拡大するとしている事業であり、しっかり定住化の成果を把握すべき」との意見が出されました。 《人口減少地域定住化促進事業》 <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td><td>NPO法人(グリーンツーリズム受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業)</td></tr> <tr> <td>平成27年度</td><td>黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業 2年目)／和賀(就労の場創出に関する事業)</td></tr> <tr> <td>平成28年度</td><td>更木(就労の場創出に関する事業)／和賀(就労の場創出に関する事業 2年目)／岩崎(定住化促進事業)／立花(子育て応援に関する事業)／黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)</td></tr> </table>	平成26年度	NPO法人(グリーンツーリズム受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業)	平成27年度	黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業 2年目)／和賀(就労の場創出に関する事業)	平成28年度	更木(就労の場創出に関する事業)／和賀(就労の場創出に関する事業 2年目)／岩崎(定住化促進事業)／立花(子育て応援に関する事業)／黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)
平成26年度	NPO法人(グリーンツーリズム受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業)						
平成27年度	黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)／口内(ふるさとサポーター発掘事業 2年目)／和賀(就労の場創出に関する事業)						
平成28年度	更木(就労の場創出に関する事業)／和賀(就労の場創出に関する事業 2年目)／岩崎(定住化促進事業)／立花(子育て応援に関する事業)／黒岩(Uターン希望者受け入れに関する事業)						

いただいた ご意見等	地域の活動に対する補助を細分化してほしい																		
意見の出た団体 (類似意見含む)	岩崎地区青年会 虹の会“絆”																		
掲載箇所	実施報告書 上 巻 31 ページ 分類名 地域性																		
回答常任委員会	総務常任委員会																		
回答	北上市では、市内16地区の自治組織に対して「地域づくり総合交付金」を交付しています。この交付金は、①地域活動運営事業、②青少年健全育成事業、③健康づくり推進事業、④交通安全活動事業、⑤地域づくり事業の5つの事業のために交付しているものです。以前は、各事業費を他の事業に充てることはできませんでしたが、現在はある程度、地区の中で配分を自由にできるようになっています。この交付金を活用し、特色ある地域づくり活動を支援し、名所旧跡や公園などの環境整備、祭りなどのイベント開催、産直や特産品開発などの産業活性化、防災マップの作成、伝統芸能の伝承活動など多種多様な事業が展開されています。 議会では、平成27年6月定例会において、地域づくり総合交付金の改善点に関する質問が出され、担当のまちづくり部長からは「各地区で使いやすい交付金となるよう使途制限を緩和し、繰り越すことも可能とした」との説明がありました。また、「後期計画に定めている事業の場合は、5年を限度とした事業展開を可能とし、毎年同じ金額ではなく、地区でめり張りをつけて使うことができるように改善した」との答弁もありました。 《平成27年度の地域づくり総合交付金》※1万円未満を切り捨てています <table><tr><td>黒沢尻北…267万円</td><td>黒沢尻東…270万円</td><td>黒沢尻西258万円</td></tr><tr><td>立花…214万円</td><td>飯豊…261万円</td><td>二子…237万円</td></tr><tr><td>更木…208万円</td><td>黒岩…206万円</td><td>口内…247万円</td></tr><tr><td>稲瀬…208万円</td><td>相去…252万円</td><td>鬼柳…228万円</td></tr><tr><td>江釣子261万円</td><td>和賀…235万円</td><td>岩崎…227万円</td></tr><tr><td>藤根…177万円</td><td></td><td></td></tr></table> ★人口や世帯数等によって地域ごとの金額に違いがあります。	黒沢尻北…267万円	黒沢尻東…270万円	黒沢尻西258万円	立花…214万円	飯豊…261万円	二子…237万円	更木…208万円	黒岩…206万円	口内…247万円	稲瀬…208万円	相去…252万円	鬼柳…228万円	江釣子261万円	和賀…235万円	岩崎…227万円	藤根…177万円		
黒沢尻北…267万円	黒沢尻東…270万円	黒沢尻西258万円																	
立花…214万円	飯豊…261万円	二子…237万円																	
更木…208万円	黒岩…206万円	口内…247万円																	
稲瀬…208万円	相去…252万円	鬼柳…228万円																	
江釣子261万円	和賀…235万円	岩崎…227万円																	
藤根…177万円																			

いただいた ご意見等	季節に関係なく観光客が訪れる場所がない
意見の出た団体 (類似意見含む)	黒沢尻北高校
掲載箇所	実施報告書 上 巻 22 ページ 分類名 観光
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	北上市には、桜の名所である展勝地をはじめとして、温泉や夏油高原スキー場など観光名所が多くあります。しかし、多くの高校・団体で指摘のあったとおり通年の観光施設が少なく、さらには観光地のPRが不足しているようにも感じられます。 市では、平成26年に策定した「北上市産業ビジョン」において、いかに新鮮で旬な情報を年間通じて的確に提供し、観光誘客を図るか、といった「情報発信」を観光業の課題の一つとして挙げ、より多くの方に情報を提供するため、ホームページ、観光パンフレット、新聞や情報誌をはじめとした様々なメディア活用により、観光情報の強化を図ることの必要性を認識しているところです。 【市の新たな取り組み】 平成28年4月に、「地域おこし協力隊(※)」の隊員に対して、北上市観光まちづくりプロジェクトの隊員として委嘱状を交付しました。今後観光資源の開発やPR、観光モデルの構築など、北上市の観光の盛り上げ役を担っていただけると期待されています。 ※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度 【議会】 議会としては、観光のPRについて、本会議での一般質問の場などで様々な提言を行っています。今後も委員会や本会議などの場で提言を行っていきます。



いただいた ご意見等	インバウンド(外国人観光客)を取り込めていない
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上商工会議所青年部
掲載箇所	実施報告書 上 巻 25 ページ 分類名 観光
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	【現状】 平成28年12月通常会議(市議会本会議)の一般質問に対する答弁では、北上市への外国人観光客の状況は、入込数は11,836人(H28.1～H28.10)、このうち展勝地さくらまつりにはアジアを中心に9,024人が主に観光ツアーで来訪しているとのことです。また、夏油高原スキー場では、昨シーズン(H27.12～H28.4)は3,321人が訪れ、多くはオーストラリアからの個人やグループとなっているとのことです。なお、今シーズン(H28.12～)については、台湾から約3,000人分の予約があったようです。 【市の主な取り組み】 ①夏油高原スキー場・・・国内で開催される外国旅行会社を招いての商談会に、スキー場関係者と共に複数回参加し、情報発信を行っています。スキー場単独でもオーストラリアでの商談会への参加など、機会を捉えて宣伝に取り組んでいます。 ②展勝地さくらまつり・・・みちのく三大桜名所連絡会議が主体となり、毎年首都圏等の旅行代理店や、海外からの旅行を商品として取り扱う代理店にも訪問しています。平成28年度は、訪日観光客の増加が見込まれるタイから旅行関係者を招いて、地域の魅力を実際に感じていただきながら旅行商品化をお願いしています。 ③受入態勢の整備・・・市では、外国語でのホームページや多言語表記の看板設置等に対し支援を行ったり、外国の方を含め旅行される方が簡単に情報を得られるよう、無料の公衆無線LANをおでんせプラザぐろーぶ1階に整備したほか、民間施設における公衆無線LANの整備やホテル従業員の英会話講習の実施等に対し支援を行っています。 【議会】 議会としては、ILC(国際リニアコライダー)の誘致もありますので、外国人観光客の受け入れをはじめとする多言語表示などの国際化の推進について、今後も様々な提言を行っていきます。

いただいた ご意見等	市民プールが古い
意見の出た団体 (類似意見含む)	花巻農協北上地域青年部
掲載箇所	実施報告書 上 巻 27 ページ 分類名 スポーツ
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北上市では、10年計画の「北上市スポーツ推進計画」を平成28年7月に策定しました。この計画の「基本施策4 スポーツ環境の充実」において、市民展勝地プールについて、次のように書いています。 市内唯一の50メートル公認プールであることから、今後も必要な修繕は随時実施し、公認施設の適切な維持管理に努めます。また、プール内トイレの水洗化を実施します。 昭和46年に建設された展勝地プールの老朽化については議会においても指摘しており、平成28年8月通常会議での一般質問に対し、市長は「北上市スポーツ推進計画に基づき、適切な維持管理を行うとともに、トイレの水洗化などの利用者の利便性の向上に努める」と答弁しています。 このような経過を受け、平成29年度において、展勝地プールのトイレ水洗化工事(事業費:2,439万円)と、ろ過機の更新(2,365万円)が計画されました。 

いただいた ご意見等	地場産品を学校給食に使ってほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 中 巻 <u>8</u> ページ 分類名 <u>物産</u>
回答常任委員会	教育民生常任委員会
回答	学校給食における地場産品の利用率は、平成21年度の33.4%を境に減少を続け、平成25年度には15.8%まで減少していましたが、平成27年度は35.9%に上昇しました。 これは、生活研究グループをはじめ、若手農業者グループからの各種野菜の納入が増えたこと、青果市場と野菜農家との連携で大根の冬期間を通した出荷がされたことなどから、利用率が伸びたものです。 平成28年11月に行われた決算特別委員会※では、議員の「給食が地元の農業を元気にするといわれている。野菜生産者を増やすためにも、地場産品利用率の目標を高く設定すべきではないか」という質問に対し、当局からは「利用率を上げるために、給食でどんな野菜が多く使われているかなど、若手農業者と情報交換を行っている。市の農業部門とも連携して、地域農業の振興に協力していきたい」との答弁がありました。 ※決算特別委員会・・・予算が無駄なく正しく使われているかどうかや、事業の成果などについて、議員が市長や担当部課長に質問し、審査する委員会です。



いただいた ご意見等	農産物のブランド化、官民一体で取り組んでほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	きたかみ市各種女性団体協議会
掲載箇所	実施報告書 中 巻 8 ページ 分類名 農業
回答常任委員会	産業建設常任委員会
回答	市では、ブランド化の枠組みの検討にあたって「どれが一番生産者の収益につながるか」を基本に考え、種や肥料の品目、農薬の使用回数などの制約を特に設けない大きな枠でのブランド化を意図しています。 【品目ごとのブランド化の取り組み】 ①「二子さといも」・・・「地理的表示保護制度(産地と結びついた品質や社会的評価を備えた農林水産物や食品に付される地理的表示を知的財産として保護する制度)」の登録を支援し、制度活用によるブランド化と生産管理体制の確立を目指しています。 ②「銀河のしずく(米)」・・・特A評価取得による産地としてのブランド強化を図っていくこととしています。 ③「きたかみ牛」・・・市内外の消費拡大を推進していくこととしています。 【地域ブランド認証制度】 平成28年度から『北上市「食のつながり」認証制度』を開始しています。これは、生産者のこだわり、思いが消費者までつながる取り組みを「食のつながり」としてブランド認証し、北上産品の信頼性を高め、市内外にPRするために行っているものです。 【議会】 農産物のブランド化の研究のため、先進地である石川県金沢市を視察しました。金沢市では、「加賀野菜」と「金沢そだち」の2つのブランドがあり、ブランド化推進に向けて生産・流通・消費などに力を入れていました。また、ブランド化の推進にはJAとの連携が欠かせないことも認識し、JAいわて花巻とブランド化等についての意見交換を行いました。今後も、視察やJAとの意見交換などで研究したことなどを基に提言を行っていきます。

いただいた ご意見等	選挙に関わる活動(啓発活動等)をもう少し増やしたほうがいい
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上翔南高校
掲載箇所	実施報告書 上 巻 17 ページ 分類名 その他
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北上市における投票率については、選挙の種類にもよりますが、近年は53%から57%程となっています。全国的に若年層の投票率が低い傾向にあり、北上市でも同様の傾向となっています。 平成28年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が施行され、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。このことは議会としても大きな関心事であり、平成28年6月通常会議では、2名の議員が一般質問で取り上げました。啓発活動についての質問に対し、北上市選挙管理委員会からは、「市内の高校1校で2学年を対象とした選挙啓発授業を実施したほか、高校生のインターンシップ受け入れや、高校生・専門学校生等を対象に、期日前投票の受け付け事務のアルバイトを募集し、投票事務にかかわることで選挙への意識向上が図られると考えている」との説明がありました。また、「若年層の社会人の投票率向上に向けての方策を調査研究する」とも答弁しているため、研究の結果についても注視していきたいと考えています。 

いただいた ご意見等	市政等PRのしかたを工夫してほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上商工会議所青年部
掲載箇所	実施報告書 上 巻 25 ページ 分類名 その他
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北上市では、平成27年度からシティプロモーションの取り組みを開始しています。平成28年度には市の重要課題と位置付け、その一環として行政の情報発信力・説明力を強化するとしています。具体的には、市職員を対象に、ポスターやチラシ、記者会見や会議の資料をどのように工夫すればわかりやすく、伝わるものになるのかという広報力のアップに向けた研修が実施されており、市内外へのPR強化が期待されます。 また、シティプロモーションの推進については、平成28年12月通常会議で一般質問が行われ、市長から「平成29年度、新たに、(仮称)シティプロモーション課を立ち上げ、全庁を挙げて総合的かつ戦略的にシティプロモーションを推進する体制を強化したいと考えている。シティプロモーションは、行政のみならず市民とともに、全市的に取り組むことが重要で、共に北上市への愛着と誇りを高めながら、市民と一丸となって都市ブランド力の向上に繋げたい」との答弁がありました。 《用語解説》 シティプロモーション…「地域再生、観光振興、住民協働」といった様々な概念が含まれている言葉です。北上市では、地域住民や北上市で働く方々などの「愛着と誇りの醸成」を通じて、「まち育てへの参画」や「一人一人による地域の魅力発信」の土壌を育て、その結果として「都市の認知度の向上」へとつなげる一連の取り組み(行動を喚起する活動)とします。 〔北上市総合計画2011～2020(後期基本計画)から抜粋〕

いただいた ご意見等	職員の教育研修に力を入れてほしい
意見の出た団体 (類似意見含む)	北上市老人クラブ連合会
掲載箇所	実施報告書 中 巻 <u>12</u> ページ 分類名 <u>その他</u>
回答常任委員会	総務常任委員会
回答	北上市には、650名程の職員(消防署を除く)がいます。新規採用職員から管理職まで様々な研修を受講し、能力の向上に努めています。議会に対しては、毎年度の決算審査において主な事業の報告があり、職員研修の内容や受講者数等について説明を受けています。平成27年度においては、経験年数・役職に応じた『階層別基礎研修』を174名、職務遂行能力や資質向上のための『特定課題研修』を203名、専門的知識や技能を修得するための『派遣研修』を51名が受講しています。 また、平成28年12月通常会議において、職員研修に関する一般質問が行われ、担当の企画部長からは「北上市の将来のまちづくりを担える人材の育成に向け、職員の能力開発・向上ができるよう、研修内容の充実に今後も努める」との答弁がありました。 